

ひょうごバイオマス eco モデル〔令和5年度登録〕

第89号

食品企業等から発生する余剰食品の有効活用による食品ロスの削減

認定 NPO 法人フードバンク関西

(神戸市東灘区深江本町 1-8-16)

<https://foodbankkansai.org/>

TEL: 078-855-7025

◇団体概要・事業内容

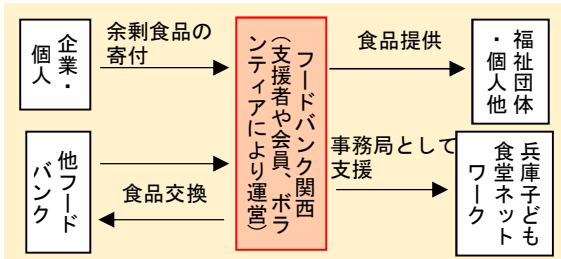
平成13年4月に設立された国内2番目のフードバンク団体。

所在する神戸及び阪神地域の企業や個人を中心として、安全に美味しく食べられるが様々な理由で使われない食品（食品ロス）の提供を受け、福祉施設や支援が必要な人たちへ無償でお届けするフードバンク活動を展開。

取組概要

- ◇企業や個人等から寄付された余剰食品を、食品を必要とする福祉団体や個人等に無償で送り届けるフードバンク活動を展開。
- ◇個人宅向けには、家族構成や性別を考慮して食品を選択・パック詰めし、施設・団体向けには、配送先に合わせた食品を選択し配送している。
- ◇寄付された食品は、利用者に安全に活用してもらうため、品質管理規定に基づき、適正な取り扱いを推進。

フードバンク関西の活動の仕組



取組開始年月		平成13年4月
利活用 バイオマス	種類	余剰食品
	利活用量	226t/年
	回収先等	瀬戸内地域（赤穂市から尼崎市）他
変換等の方法		フードバンク活動
製品等	種類	余剰食品
	提供量	226t/年
	利用先	福祉団体、個人等
先導性の区分		地域、その他

※R4実績値

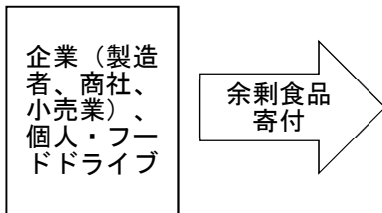
【強み】

◇企業からの食品提供にあたり、「食品の提供に関する合意書」を取り交わし、企業に対し食品の安全性の保証を求めると同時に、提供される食品を福祉目的以外には使用しないことを確約。

【取組の効果】

◇余剰食品の寄付側と需要側の橋渡し役になることで、需要側の「食の部分」をサポートするとともに、食品ロス削減に貢献。

◇食品提供企業にとっては、廃棄に掛かる費用を抑制できるだけでなく、食品廃棄物の発生を抑え、福祉活動に貢献しているという面でCSRの取り組みにもなり、企業価値の向上に寄与。



荷受け



ボランティアスタッフによる配送先に応じた食品の仕分け



品目・賞味(消費)期限別に区画分けし整理・保管

食品提供

福祉団体・施設
支援が必要な個人
子ども元気ネットワーク等

各需要先へ無償で配送



兵庫県登録モデル第89号

年間利活用炭素換算量 約10t/年